

ブリーフィング(ドライバーズミーティング)資料

本資料は、本コースにおける注意事項と、その他特に留意いただきたい事項を記しています。特別規則書と合わせて十分に確認をし、内容を理解下さい。ジュニアドライバーは、エントラント及び保護者より説明をし、十分に理解下さい。

第1条 公式練習・タイムトライアル

1. 原則、タイムトライアルは公式練習と連続して走行を行い、公式練習は5分間、続いてホームストレートにおいて日章旗の提示と共に3分間のタイムトライアルの計測開始となり、タイムトライアルは、そのベストタイムを採用します。公式練習およびタイムトライアルは、全クラスともにピットロードより出走とします。
2. 公式練習およびタイムトライアルは、全クラスともに、公式車検に登録のタイヤを使用することとします。
3. タイムトライアル開始後にピットインをした車両は、再度計測はできません。速やかに車検場へ戻り、車検委員の指示に従ってください。
4. 上記に変更がある場合は、公式通知およびレース当日のアナウンスにより通知致します。

第2条 スタート時、フォーメーション時、その他の注意事項

1. 進行委員の合図が出てエンジン始動ができ、フォーメーションラップスタートに入ります。この時スタートできない参加者及び車両はピットエリアに移動し再スタートをトライすることができます。但し、再スタートの制限があります。
2. スタートの合図が出る前に、数周のフォーメーションラップを行います。
 - ① フォーメーションラップ中に隊列から大きく遅れた車両には、白地に赤バツェンボードをバックストレート付近(【図1】各ポスト・信号灯配置図参照【A】)で提示する場合があります。ボードを提示されたドライバーは、それに従い隊列の最後尾につくこととします。また、それによって空いたグリッドを詰めてはいけません。
 - ② フォーメーションラップ中のみ、7コーナー(モナココーナー)立ち上がりからストレートを走行してください(【図1】各ポスト・信号灯配置図参照【B】)。
 - ③ 隊列復帰禁止区間は、7コーナー(モナココーナー)進入口に設置された両側の三角コーンを結んだ赤い線上からスタートラインまでとします(【図1】各ポスト・信号灯配置図参照【C】)。
 - ④ フォーメーションラップ中、隊列復帰禁止区間に進入した後の追い越し、またはポジション復帰は違反行為になり当該ヒート失格になります。隊列復帰禁止区間(【図1】各ポスト・信号灯配置図参照【C】)を通過後、再フォーメーションラップとなった場合は自身のポジションへの隊列復帰を認めます。ただし、①の場合、隊列復帰は認めず、隊列の最後尾につくこととします。
 - ⑤ ホームストレート上には、2列の隊列をイン側、アウト側に誘導する目印の白線がありますのでその線の中を目標に走行してください。誘導白線不通過はペナルティとなります。
 - ⑥ 隊列はスタートライン25m手前に引かれたイエローラインを超えるまで加速してはなりません。(【図2】レーススタート時の各ライン)。
 - ⑦ イエローラインを越えてから加速可能となり、信号灯の赤シグナル消灯までは誘導線を越えてはいけません。単に誘導線に触れる程度は許容範囲とします。
 - ⑧ レースのスタート合図は信号灯で行います(【図1】各ポスト・信号灯配置図参照【D】)。信号灯の赤シグナル消灯がスタート合図となり、イエローラインを越えていなくても追い越し可能とします。信号灯の赤シグナルが消灯されなかった場合、フォーメーションラップが継続となります。
 - ⑨ 信号灯の赤シグナル消灯によるレーススタート合図があったとしても、ミススタート旗が振られた場合、フォーメーションラップが継続となります。尚、ミススタート旗は、2コーナーで提示します。
 - ⑩ イエローライン手前でポールポジション、セカンドポジションの車両が後続車両に対し大きく距離を離す行為(ジャンプスタートと言います)を繰り返した場合、最後尾に繰り下げとなります。
 - ⑪ フォーメーションラップを乱す行為が継続する選手は、赤旗中断後に最後尾に降格する場合があります。また、同行をポールポジション、セカンドポジションのドライバーが繰り返した場合、最後尾に繰り下げとなります。
 - ⑫ フォーメーションラップ中の適度なヒーティング行為は認めますが、7コーナーのレッドライン前までとなりレッドラインからのヒーティングはペナルティの対象となります。
 - ⑬ フォーメーションラップ中の隊列の先頭車両が、5コーナー以降に差しかかった時点で、ピットロードをクローズします。その時点でピットエリアに残っている車両はスタートできません。尚、再度ミススタートなどによりフォーメーションラップとなった場合は、最後尾への隊列復帰のみ認めます。
 - ⑭ フォーメーションラップ開始からレーススタートまでは、ピットエリアの白線を超えてピットサインを出すことを危険防止のため禁止します。

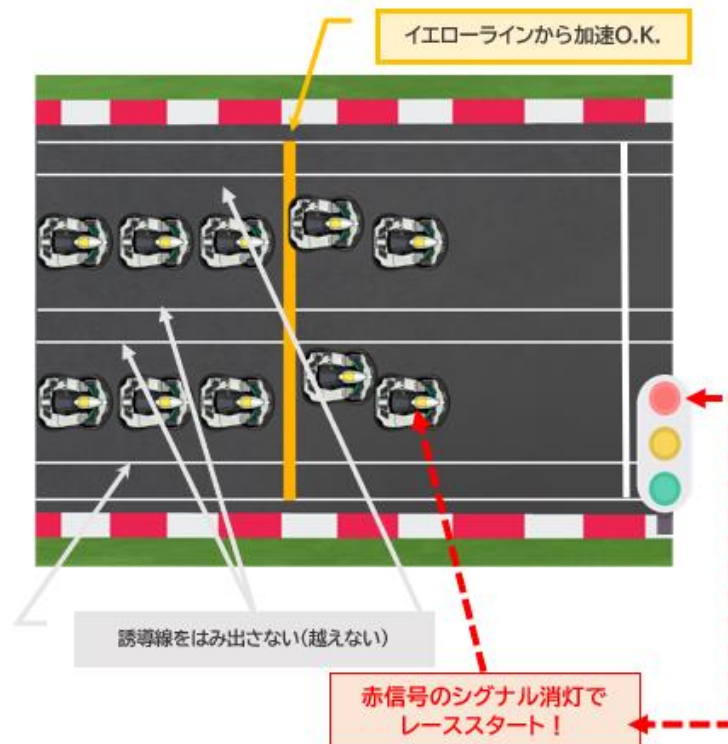
【図1】各ポスト・信号灯配置図

【図1】 各ポスト・信号灯配置図



【図2】レーススタート時の各ライン

【図2】 レーススタート時の各ライン



3. 迅速に再スタートができないと判断された場合(接触やコースアウト、その他のトラブルでエンジンが停止した時など)は、安全確保を優先とし、ドライバー及び車両を避難させ、レースから排除することがあります。

第3条 競技について

1. 幅寄せ、プッシング、過度なブロッキングが著しい場合、警告旗なしでペナルティとする場合があります。
2. コース上で停止し、再スタートする場合は、後続車両がいないことを確認してから再スタートしてください。再スタートしない場合は、コースマーシャルの指示に従いカートを移動してください。周回遅れになっても復帰できない場合は、速やかに車両を下げてください。
3. Cadet がコース上で停止した場合、カートから降りずに再発進できる場合のみコース復帰可能とします。
4. レース中にコースマーシャルの補助を得た場合はヒート失格となります。ただし、危険回避の為コースマーシャルの補助を得た上でコースに復帰した場合は除きます。

第4条 信号旗

1. 競技を中断する必要があるとみなされた場合、全てのポストで赤旗を提示します。赤旗が提示された場合、直ちにレースを中止し、安全に止まれるよう徐行してください。全ての車両はスタートライン付近を先頭に、左右に分かれて安全に停止してください。
2. 全ての競技旗は、基本スタートライン(メインポスト)進行方向左側で提示しますが、バックストレート側(サブポスト)でも競技フラッグを提示します。また赤旗中断等に関する事項は、赤旗通知を参照してください。

提示する信号旗	ポストの場所
チェッカー旗、黒旗、白黒旗、オレンジボール	メインポストで提示
白地に赤×ボード、白黒旗、オレンジボール	サブポストで提示
ミススタート旗	2コーナーで提示
※黄旗だけでは確認しにくい場合、対象障害物がある場合に、障害物手間の信号灯を点滅	信号灯

第5条 ニュートラリゼーション制(イエローコーション)について

全てのクラスにおいて競技を中断するか判断に迷う軽度なトラブルが発生した場合、全てのポストで黄旗とSLOWボードを提示しニュートラリゼーションの合図を全ドライバーに指示します。全てのドライバーはルールに従いその周回の先頭車両から1列で安全を考慮したフォーメーション体制をとることになります。詳細内容は公式通知で示します。

※雨による悪天候の場合、1列のフォーメーションでレースをスタートする場合があります。

第6条 吸排気装置のトラブルに関して

競技中に、吸気、排気装置にトラブル・脱落が発生した場合、ただちに安全な場所へ停止するか、パドックに入って競技を終了しなくてはなりません。競技を続行している場合、ドライバーに黒旗の提示を行い競技を強制終了させます。

第7条 その他、マナーなど

1. エンジン暖気は禁止とします。エンジン始動チェックはオーガナイザー指定のエリア内で行うこととする。
2. パドック、ピット、ピットエリア内での火気の使用は禁止とし、指定された場所以外での喫煙は禁止となります。施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず処理していただきます。
3. エントラント、ドライバー及びピットクルーによる競技会会場での言葉による脅しや侮辱、威圧、暴力行為をした場合、オーガナイザーの判断により当該競技会失格、当施設からの退場、次戦のエントリー拒否等のペナルティを与えることとします。主に、選手に対しての暴力(特に子供へ)、選手間同士の暴力は目に余る物がありますので人道的な対応にてお願いいたします。また、オーガナイザーや大会審査委員、選手間に対して、SNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合またはその恐れがある場合、競技会の参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。